

サッカーにおけるボール支配率と試合結果の関係性について

川越 一輝 (競技スポーツ学科 スポーツ情報戦略コース)

指導教員 望月 聡

キーワード：サッカー,ボール支配率,ボールポゼッション

1. 緒言

サッカー競技において、ポゼッションサッカーが試合の勝敗に関係あるのかという疑問を抱いた。サッカーの中で、様々な戦術がある中で、ボールポゼッションの戦術でボールを繋ぐチームより、速攻でポゼッションをせずカウンター戦術を使うチームのどちらがよい試合結果がでるのか、ボールポゼッションを高めることで、どのような効果があるのか、ボール保持率に着目して、サッカーの中でよりよいチーム戦術はなんなのか、チャンピオンズリーグにおいて1番大事な「結果」への関係性を調査する。

そこで、本研究の目的は、サッカーにおいてボールを保持することは結果に大きく関係しているのかを分析しボール保持率と試合結果の関係性を明らかにする。ボール保持率が勝敗に及ぼす影響をUEFAチャンピオンズリーグの試合結果に着目して研究したものである。

2. 研究方法

UEFAチャンピオンズリーグの決勝トーナメントにおいて5%以上ポゼッション率が離れている試合を、試合映像を使って調査する。そこで、ポゼッション率が上回ったチームが勝った場合、負けた場合、引き分けた場合に分けUEFAチャンピオンズリーグの24試合を比較する。

3. 結果と考察

UEFAチャンピオンズリーグ決勝トーナメント24試合を分析した結果、ポゼッションが5%以上離れているチームでポゼッションが上回

っているチームの試合結果は、24試合の中で17勝3敗4分けだった。

以上のことから、ボール支配率を上げることで選手の距離間がよくなり攻撃と守備が活性化され、攻撃の際に選手の距離がよくなることで、ボールロストした時にすぐ守備に移ることができ、攻守ともにプラスのメリットがあると考えられる。

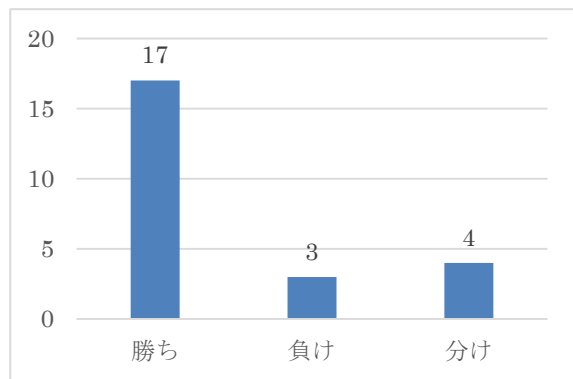


図1 UEFAチャンピオンズリーグ24試合の結果

4. まとめ

本研究の結果から、ポゼッションをすることで優位に運べることが1番の利点であり、24試合中17試合勝利をあげているのが明らかになった。サッカーにおいてボール支配率は試合結果に大きく関係することが実証できた。

5. 引用・参考文献

- ポゼッションサッカーとは何か
soccer-tellrist.net/possession
- UEFAチャンピオンズリーグ UEFA.com
jp.uefa.com/uefachampionsleague